



研究  
公演

特別展「ウメサオタダ才展」関連

# 心に草原を

馬頭琴がひらく、新たな世界

2011年5月5日「木・祝」

13時30分～16時15分(開場 13時00分)

【場所】 国立民族学博物館 講堂

【定員】 450名(要申込)

【参加料】 無料(5月5日は無料観覧日です。本館展示・特別展ともに無料でご覧いただけます。)

【主催】 国立民族学博物館

司会・解説

小長谷有紀

(国立民族学博物館 民族社会研究部・教授)

出演

A・バトエルゲネほか

〈A・バトエルゲネ プロフィール〉

馬頭琴奏者。1975年モンゴル国生まれ。4歳より父について馬頭琴を習い始め、モンゴル国立芸術大学、同大学院修士課程卒業。1989年、第1回、1995年、第2回「ジャミアン」全国馬頭琴コンクールにてグランプリ受賞。1998年、国立民族学博物館(大阪)の「大モンゴル展」にて演奏し、好評を得る。2001年より日本に在住。日本各地で馬頭琴の演奏および指導を行うとともに、モンゴル国立母子センター向けにオーディオ・CDも制作している。2008年5月、バトエルゲネの提案で始まった「第10回国際馬頭琴フェスティバル & シンポジウム2008」をラン・バートルにて開催。その成果を受けて2008年11月にWMA(世界馬頭琴協会)理事に就任。2010年5月にはWMA主催で「第2回国際馬頭琴フェスティバル2010」をラン・バートルにて開催。



A・バトエルゲネ氏が解説もいたします。

研究  
公演

特別展「ウメサオ タダオ展」関連

# 心に草原を

馬頭琴がひらく、新たな世界

馬頭琴は、モンゴル族の民族楽器としてよく知られ、絵本「スーホの白い馬」の物語にも登場します。馬頭琴の伝統音楽は、ユネスコ世界無形遺産として登録されました。今回の公演では、モンゴルの馬頭琴奏者A.バトエルデネ氏のほか、総勢9人による演奏を通して、地方に伝わる擦弦楽器との違いや民族音楽の移り変わりを紹介します。また、みんぱく初代館長の梅棹忠夫が、本格的な人類学研究を開始したのが、中国内モンゴル。生前最後に訪問した国もモンゴル国でした。そんなゆかりのあるモンゴルの音楽にふれてみませんか。

## 出演者



A.バトエルデネ  
(馬頭琴奏者)



B.オユンガ  
(イケル奏者)



L.ボロルマー  
(チェロ奏者)



A.ムングン  
(プリアートホール奏者)



Y.バトバヤル  
(馬頭琴奏者)



D.ブルマー  
(モンゴル民謡歌手)



B.イラナ  
(馬頭琴奏者)



後藤晋一  
(馬頭琴奏者)



伊藤早紀  
(オルティンドー歌手)

※イケル：モンゴル西部の馬頭琴／プリアートホール：モンゴル北部の馬頭琴／ホーミー：喉歌／オルティンドー：音を長く伸ばす歌唱法

## 司会・解説

### 小長谷有紀

(国立民族学博物館  
民族社会研究部・教授)

## 申込方法

往復はがきに①氏名 ②住所(返信用宛名面にも) ③年齢(任意) ④電話番号 ⑤参加希望人数(本人を含め4名まで) ⑥「国立民族学博物館友の会」会員番号(会員の方のみ)を明記の上、「5月5日研究公演」と書いて下記までお申し込みください。応募多数の場合は抽選となります。締切日以降、順次返信いたします。なお、参加申込された方の個人情報は、研究公演にのみ使用いたします。

宛 先 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号  
国立民族学博物館 広報企画室 企画連携係

申込締切 4月21日(木) 必着

往信の宛名面	返信の文面	返信の宛名面	往信の文面
〒565-8511 大阪府吹田市 千里万博公園10番1号 国立民族学博物館 広報企画室 企画連携係		ご自分の 住所・名前	1. 氏名 2. 住所 3. 年齢(任意) 4. 電話番号 5. 参加希望人数 6. 会員番号※ (会員のみ)  5月5日研究公演

※「国立民族学博物館友の会」維持会員および正会員の方は優遇枠がございます。必ず会員番号をご記入ください。

## 関連イベント

### 特別展 「ウメサオ タダオ展」



会 期：3月10日(木)  
～6月14日(火)  
場 所：特別展示館

観覧料：一般420円(350円)／高・大250円(200円)／小・中110円(90円)

※( )は20名以上の団体料金 ※3月13日(日)、5月5日(木・祝)は無料観覧日  
※上記観覧料ですべての展示をご覧いただけます。

### 企画展 「民族学者 梅棹忠夫の眼」

会 期：3月3日(木)～6月14日(火)  
場 所：本館展示場内

### みんぱくゼミナール

3月19日(土)「みんぱく誕生」  
4月16日(土)「霊長類学からみたウメサオタダオの文明論」  
5月21日(土)「青年ウメサオタダオの学問形成」

時 間：13:30～15:00  
場 所：国立民族学博物館 講堂  
参加無料、申込不要

### みんぱくウィークエンド・サロン 研究者と話そう

毎週日曜午後  
時 間：14:30～15:30(予定)  
場 所：本館展示場内、特別展示館内  
要観覧料、申込不要  
※特別展開催期間中はみんぱくの名誉教授が梅棹忠夫の仕事や人柄などについてお話しします。

詳しくはホームページ(<http://www.minpaku.ac.jp/>)をご覧ください。

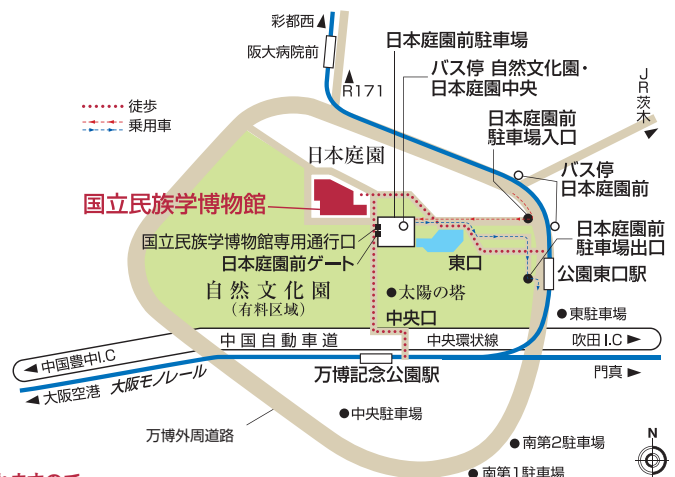
## 交通のご案内

国立民族学博物館(みんぱく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。

「みんぱく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

- 大阪モノレール**
- 「万博記念公園駅」下車徒歩約15分  
(研究公演に参加される方は、参加券を自然文化園ゲート窓口でご呈示いただければ無料で通行できます。)
  - 「公園東口駅」下車徒歩約15分(「公園東口駅」からは自然文化園を通過せずに来館できます。)
- バス**
- 〔近鉄バス〕(阪大本部行き)  
阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分  
「日本庭園前」下車、徒歩約15分
  - 〔阪急バス〕(万博記念公園駅経由千里中央行き)  
阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分  
「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分
- タクシー**
- 万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。下車、徒歩約5分
- 自動車**
- 駐車施設が無い「みんぱく」への車の乗り入れはできません。万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分  
※「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある国立民族学博物館専用通行口をお通じください。

※5月5日は祝日のため、万博外周道路および万博公園各駐車場は、たいへんな混雑が予想されますので、公共交通機関のご利用をおすすめします。また、バス、タクシー、自動車をご利用の際は、時間に余裕を持ってお越しください。



お問い合わせ先  
国立民族学博物館 広報企画室 企画連携係  
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号  
TEL:06-6878-8210(平日9時～17時)  
<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱく  
携帯サイト



国立民族学博物館